

地域に学ぶ 出会い・感動・発見 2012トライやる・ウィーク



トライやる・ウィークで学ぶこと

福崎東中学校長 入江多喜夫

今年度で15回目を数える「地域に学ぶトライやる・ウィーク」が、6月上旬に実施されました。今年も、多くの事業所の方々と地域、保護者の皆様に多大なご支援とご指導をいただき、無事実施できたことを、大変嬉しく思っています。

この事業は全国的にも大きく注目されており、他府県に出張で出かけた際、いろいろな方から声をかけられます。「兵庫県からお越しですか？兵庫県ではトライやる・ウィークをされていますね。すばらしい取り組みですが、どうして1週間もあんなことができるのですか？」という賞賛と質問です。その次に、ほとんどの場合「うちの県では無理です。」という言葉が続きます。このような声を聞くと、この事業の持つ意味の大きさと、地域に支えられている学校というものを強く認識するとともに、学校・家庭・地域という三角形、まさに「トライやる」の語源の一つであるトライアングルの結びつきの強さがこの事業を支えていることを実感します。あらためてこの事業に関わっていただいている多くの方々に感謝申し上げます。

今年度も、福崎西中学校と福崎東中学校、合わせて67か所の事業所で活動させていただきました。期間中に各事業所を訪問させていただきましたが、生徒たちは、それぞれの事業所で一部の仕事を任せられ、一心に働いていました。製品を造り、商品を並べ、商品売り、園児と遊び、整備の油にまみれ、草引きに汗を流し、図書を整理し、お年寄

りや患者さんのお世話をし、受付やカウンターで接客し、裏方の仕事を学び、消防車を洗い、外回りの仕事に携わり、食育を考え、美容のお手伝いをする等々。

ある事業所をお訪ねしたとき、担当者の方が、部品を箱詰めするための準備の仕事をしている生徒たちの所へ私を案内し、このような話をしてくださいました。「この箱には、トヨタで使われるエンジンの部品を入れます。そして、トヨタで組み立てられたエンジンは車にのせられ、世界へ出て行きます。それだけに、故障や不具合が起こらないよう細心の注意を払って製造しています。福崎にあるこんな小さな工場ですが、世界に通用する製品を造っているんです。」と。その話を聞き、生徒たちがふるさと福崎から世界へ通じる仕事の一端を担えたことに感動を覚えました。この生徒たちをはじめとする2年生全員は、今回の貴重な体験を生かし、今後の中学校生活、その後の人生において、前向きな一歩一歩を確実に歩んでくれるものと確信しています。

生徒たちを受け入れていただいた事業所の皆様、そして、直接お世話いただいた指導ボランティアの皆様から感謝申し上げますとともに、来年度以降も改善を重ねながら本事業の継続発展を目指して取り組んでいきますので、どうか本年度同様のご支援ご指導を賜りますようお願い致します。

生徒の感想

- 自動車を車じゃないぐらいまで分解しました。ネジやボルトが合わなかったり余ったりしてうまくいきませんでした。最終日に組み上がったときは、すごくうれしかったです。仕事は、人の役に立ちたいという気持ちがなければいけないことだなあと思いました。(福岡西中)
- 「トライやる・ウィーク」で何を学ぶのか疑問に思っていたけれど、初日で「仕事の大変さ」がわかりました。丸一日、生ラーメンの袋とじをしたのですが、コツがつかめず難しかったです。仕事を終えて、しんどいの毎日ご飯を作ってくれる親には感謝しないといけなとも思いました。(福岡西中)



- 最初は恥ずかしかったけど、大きな声で「いらっしゃいませ」と言えるようになってきました。5日間、本当にいい体験ができました。そして、技術を身につける苦勞がよくわかりました。(福岡西中)
- 私の目標は「お姉ちゃん先生」になれるようにがんばることでした。園児と話をするときは同じ高さで目をあわせること、何もかも手伝うのではなく「○○君ならできる」とひとこと声をかけてあげることなどを学びました。(福岡西中)



- 1週間がとても短く感じました。うれしかったことは、服をたたむのを「ていねいやね」とほめていただいたことです。つかったことは、立ち作業で1日がとてもしんどかったことです。「トライやる・ウィーク」では「仲間と協力することの大切さ」を学びました。どうもありがとうございました。(福岡西中)



- 配達にいきましたが、重いものをたくさん運んで、手がちぎれるかと思いました。こんな苦勞を毎日してお金をもらうので、お金を稼ぐのは大変なことだとわかりました。両親のしんどさもよくわかりました。(福岡西中)
- ゴルフバッグをカートに積み込んだりお客様に手渡したりする仕事は、とても役立てた感じがしてうれしかったです。仕事の大変さや責任の重大さを学びました。将来、大人になって働くときには「トライやる・ウィーク」のことを思い出して、いかしていきたいと思います。(福岡西中)



- 患者さんの呼び出しは間違わないようにしないといけないし、大きな声を出さないと聞こえないので、緊張は倍増しました。いろんな作業も慎重にしないといけないところがたくさんあって、リラックスできるのは昼休みだけでした。先生や看護師さんの仕事の忙しさにも驚きました。毎日毎日こんなに疲れて、お父さんやお母さんが家に帰って来ているんだなと感じました。(福岡西中)

■本当にすごく楽しくて勉強になって、充実した5日間だったと思います。園児の相手はすごく体力がいるし、休憩がない仕事で大変だと思ったけれど、やりがいがあるいい仕事だと思いました。私は、すごく忘れられない嬉しいことがいっぱいあったので「保育士になりたい!」と思いました。(福岡東中)



■この1週間は、初めての経験ばかりでとても大変でした。でも、おじいちゃんやおばあちゃんといっしょにおしゃべりをしたりレクリエーションをしたりして、とても楽しかったです。また、この「トライやる・ウィーク」では、コミュニケーションの大切さや仕事の厳しさが少しわかったような気がします。(福岡東中)

■この1週間は、困ったことや楽しいこと、辛いことなどがあったけれど、とても充実した1週間でした。やさしいお店の人や気軽にしゃべってくれるお客さんなど、いろんな人にふれあいました。(福岡東中)

■スタッフの方々は、仕事に真剣に取り組まれていて、その一方では私たちにとても優しく接してくださいました。ここのスタッフのみなさんのように「毎日が幸せです」と言えるような仕事につき、輝ける人になりたいです。(福岡東中)



■行く前は緊張して不安だったけれど、事業所のみなさんはすごく優しくて親切だったので、とても仕事がいやしくて嬉しかったです。どの仕事も初めてだったので楽しかったです。大人の人や仕事場の人、お客様の心の温かさがよくわかりました。(福岡東中)

■最初はどんなことをするのかもよくわからず、話しかけられたら笑顔で話をすることぐらいしかできませんでした。でも利用者の方々がたくさん話しかけてくださって、いっぱい話ができるようになりました。私も、将来仕事に就くときは、やりがいのある仕事につきたいです。(福岡東中)



■子どもたちが私をたよりにしてくれたことが、とてもうれしかったです。子どもとふれあうことのなかで、学ぶことが多くてびっくりしました。最終日には、子どもたちからのサプライズに涙が止まりませんでした。ありがとうの言葉でいっぱいです。(福岡東中)

■おすすめ本の棚作りは楽しかったです。いろいろな人がその本を手にとってくれるといいなと思います。図書館を利用されている方が「がんばってね」と声をかけてくださったことがありました。そのときは本当にうれしかったです。(福岡東中)



【保護者の感想】

- 5日間無事に終えることができ、よかったです。始める前は少し不安に思っていたようですが、1日目の水産部門でほめてもらったことがとてもうれしかったようで、楽しく作業をさせて頂き、明るい表情で帰ってきました。いつもは何気なく買物をしていたのですが、いろいろな部門を体験させて頂くことにより、食料品店にはたくさんの仕事があり、どの仕事も大切だということに気付けたのではないかと思います。初めてのことばかりで大変だったと思いますが、充実した「トライやる・ウィーク」になったと思います。
(福岡西中)
- 毎日、「どうだった？」と聞いていました。その中で、1日、私が「自分の子がえらいなあ」と思ったことを話してくれた日がありました。幼稚園に行ったのですが、その日、子どもたちが帰った後、「先生たちも見えていない時に、手洗い場が汚れていたのが気になって、ピカピカにみがいたねん。あそこは先生も使わへんし、子どもたちが綺麗になったのに気づいてくれるかな」と、うれしそうに話してくれました。それを聞いて、私もうれしい気持ちになりました。次の日、先生が気づいて、ほめてくださったそうです。
(福岡西中)
- この1週間は、子どもの話を聞いて「一生懸命取り組んでいるな」と思いました。最終日には、別れを惜しんで涙してくださる方もいたということを知り、人対人のつきあいの方の大変さ、大切さを体験させて頂いたことに感謝いたします。ありがとうございます。
(福岡西中)
- 「トライやるウィーク」は本当にいいことだと思います。中学生が「働くことの大変さ」をわかることもないなかで、経験できる場を与えてもらえたことに感謝

です。我が子が少し大人になれたように思えます。中学生活の毎日より、トライやる期間中の方が生き生きしていたように思えます。(これはいいことなのかはわかりませんが...) 協力して下さった皆様に感謝します！(福岡西中)

- 「トライやる・ウィーク」中はお世話になりました。ようすを見に行ってきましたが、表情もよく楽しそうにお手伝いしていました。「どんなことするの？」と会話の機会も増えてよかったです。「接客は楽しい」と言っていました、自分の将来を考えるよいきっかけになればと思います。(福岡東中)
- 職場という、自分を助けてくれる親や先生のいない所で、初めて出会う人々と自分の力でコミュニケーションをとりながら、いろいろな注意を受けたりほめられたりする経験は大きく、心の成長を促してくれるのではないかと思います。受け入れてくださる事業所は、中学生の「トライやる・ウィーク」のためのプログラムなど、よく考えてくださって、ありがたく思いました。(福岡東中)
- 学校とは違う学舎で、5日間大変貴重な経験をさせていただきました。人様のお役に立つことで得たうれしさや喜びは、今まで気づかなかった隠れた可能性を引き出すきっかけとなったのではないのでしょうか。改めて事業所の皆様方、また先生方の温かいご指導に感謝申し上げます。(福岡東中)
- あいさつはしっかりできるのか、迷惑をかけるようなことはしないかなど、とても心配でしたが、子どもが帰ってきて話をしてくれるのを聞くと、初めて体験させてもらうことばかりで、これからの将来に役立っていくのだろうと、とても嬉しく思いました。
(福岡東中)

【事業所の感想】

- どのような仕事をして、ていねいに熱心に取り組んでくれる姿から、多くのことを学ばせて頂きました。特に、少し難しいと思われていた柳田國男、郡役所の歴史の調べ物にも集中して取り組んでくれました。また、そのなかでするどい質問をうけ、こちらももっと勉強していかなければならないと痛感しました。
- 大変意欲的で、自分から子どもたちに関わる姿が見られました。日誌もていねいによく観察して書いている子が多く、感心しました。また、保護者の方も毎日感想を書いてくださり、「トライやる・ウィーク」のできごとを家で話しているようすがうかがえ、うれしく思いました。
- 仕事は辛いことも多く、毎日楽しくとはいかないのが現実ですが、今の間にいろいろな体験をし、視野を広げて、いろいろな角度から物事を見て、将来の夢や目標を持てる子でいっぱいになってくれることを願っています。
- 子どもたちは、大好きなお兄ちゃん、お姉ちゃんと過ごせて、明るい笑顔で楽しむことができました。限られた期間で、自分たちにできる精一杯のことをしてく

ださったように思います。ありがとうございました。

- 学校生活で学べないことを経験することにより、中学生の意識が変わればと思います。先生から学べないことを、私たち社会人が教えてあげたいですね。これからも協力させていただきます。
- 取り組む意欲があるのはわかるのですが、もう少し大きな声がでればと思いました。少しおとなしい感じがします。何事も素直にしてくれました。ありがとうございました。
- 初めて働いてすごく気を遣ったり、立ちっぱなしで疲れたと思いますが、弱音も吐かず日に日に積極的に取り組んでくれて、1週間とても楽しかったです。ありがとうございました。
- 積極的に活動に参加していただきました。よく気がつき、自主的な行動が見られました。介護ということでは、女性的な行動が多いかも知れません。ありがとうございました。
- とても意欲的に何事も取り組んでくれる中学生の子どもたちで、とても助かりました。仕事も早く、テキパキとこなし、きちんとあいさつもできていました。

大庄屋三木家

よもやま話

第81話

今回は2月号の広報に引き続き、三木家史料の中の「諸事控 四番」を素材に、三木家の文化的活動の一つとして、7代目当主通深と姫路藩の元家老河合寸翁との交流について見てみましょう。

通深の書画の腕前は相当なものであったようで、寸翁の聞き及ぶところとなりました。すなわち、天保9年(1838)、寸翁は姫路藩士の下田重次郎へ、通深の詩・書画を見たい旨を伝えたので、重次郎は通深に対し、詩・書画を作成したのであれば、自分とともに寸翁に会いに行くべき旨を申し渡しています。

もっとも、当時姫路に訪れていた文人画家の浦上春琴が寸翁に会うことになっ

福崎の身近にある歴史を掘り起こそう

地域連携センター共同研究報告

三木家の文化的活動②

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター

学術推進研究員 山崎善弘

ており、相談の上で、9月19日に春琴・通深・重次郎の3人がいっしょに寸翁の屋敷に訪れることになりました。その際、通深が持参した詩・書画を寸翁は見えて賞賛し、酒や菓子を振る舞い、珍藏の品々を披露した上で法帖(書の手本や鑑賞用に、先人の筆跡を模写するなどしたもの)を与えています。

寸翁は姫路藩の財政改革に着手し、大きな成果を上げたことでよく知られていますが、一方で、茶道を嗜むなど文人肌でした。右の出来事は彼の後者の側面をうかがわせることです。

また、右の出来事からは、通深の詩の腕前も相当なものであったようで、やはり寸翁が関心を寄せていたことが知られます。

寸翁と通深との接点は、通深が姫路藩の大庄屋を務

めていたことと無関係ではないでしょうが、通深の文人としての力量が、2人の交流をもたらしたといえるでしょう。そして、寸翁が通深の詩・書画を賞賛したことからすれば、通深の力量は寸翁の期待に十分応えるものでした。

お祝いメッセージコーナー

おめでとうございます!

これからも町の方々に親しまれ、愛される歴史文化の拠点としてあり続けてください。ご活躍・ご発展をお祈りしております!

神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター
河野未央

祝! れきみん三〇周年



歴史民俗資料館からのお知らせ

古文書を読む会～初級編②～

今年も歴史民俗資料館で「古文書を読む会」を開催します。

古文書は地域の歴史を知る身近な史料ですが、くずし字で書かれているものが多く、読みづらいと感じたことはないでしょうか。

そこで当館では、昨年につづき「古文書を読む会～初級編②～」を全3回で行います。

初めて古文書と接する方も、どうぞお気軽にご参加ください。

日時 各回とも13:30～15:00

第1回: 9月5日(水) 第2回: 9月12日(水)

第3回: 9月19日(水)

場所 歴史民俗資料館 ☎22-5699

講師 河野未央さん

(神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター
非常勤講師/近大姫路大学教育学部助教)

兵庫県公館県政資料館 巡回展のお知らせ

「災害に備えてー姫路藩の固寧倉制度 西光寺村の場合ー」

江戸時代に姫路藩が行った、ききんや災害に備えて米を蓄える固寧倉制度について、そのしくみや西光寺村の固寧倉についてご紹介します。

会期 8月25日(土)～9月17日(月・祝)

場所 歴史民俗資料館 展示室

講演会 8月25日(土) 13:30～15:00

『西光寺村の固寧倉』(仮)

講師 伏谷 聡さん

(兵庫県公館県政資料館文書課学芸員)

巡回展の初日に、13時30分から15時まで西光寺村の固寧倉をより詳しく知るための講演会を行います。

展示とあわせて、ぜひご参加ください。

農業者のみなさんへ

農業者年金に加入しましょう！



農業委員会
だより

☆農業に従事されている方は誰でも加入できます

60歳未満の国民年金第1号被保険者であって年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。



☆少子高齢化に強い年金です

自ら積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる「積立方式(確定拠出型)」の年金です。自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ(月額2万から6万7千円の間で千円単位)、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。

(注) 運用の結果得られる年金原資が、積み立てた保険料の総額を下回らないという保証はありませんが、安全性を重視した運用方法や、65歳の年金裁定時に運用収入の累計額ができるだけマイナスとならないようにする準備金の仕組み等を導入しています。

☆終身年金で80歳までの保証付きです

農業者老齢年金は、原則65歳から生涯受け取ることができます。仮に80歳前に亡くなられた場合でも、80歳までに受け取るはずであった農業者老齢年金の額の現在価値に相当する額を、ご遺族に死亡一時金として支給します。

☆税制面で大きな優遇措置があります

- 納めた保険料は、全額(1人当たり最高年額80万4千円)が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります。(納めた保険料の15%~30%程度が節税)
- 保険料を農業者年金基金が運用して得られる収益(運用益)は非課税です。
- 将来受け取る農業者年金には公的年金等控除が適用(65歳以上の方は公的年金等の合計額が120万円までは非課税)されます。

☆認定農業者など一定の要件を満たす方には保険料の国庫補助があります

認定農業者で青色申告をしている方やその方と家族経営協定を結んだ配偶者・後継者の方など一定の要件を満たす方には、保険料の国庫補助(月額最高1万円、通算すると最大で216万円)があります。

(問い合わせ先)

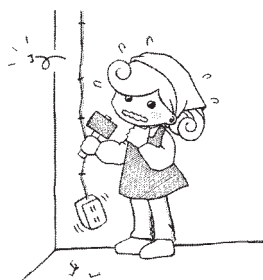
農業者年金基金 ☎03-3502-3942

農業者年金基金ホームページ <http://www.nounen.go.jp>

福崎町農業委員会(産業課・内線394)

8月は電気使用安全月間です

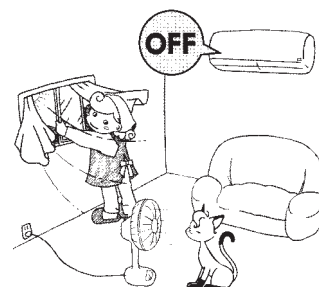
電気は取り扱いを誤ると大変危険です。工事は電気工事店に依頼しましょう。



しろうと工事はやめましょう

経済産業省 主唱

ムダな電気機器の使用はやめて、節電につとめましょう。



電気はムダなく安全使用で！



「あそびのひろば」

ぐりとぐら 毎月第1木曜日 10:00～11:00
9月6日(木) 文化センター 2階 和室
わらべうた・絵本の読み聞かせ・パネルシアターなど、
親子でいっしょに楽しめます。
ドレミ 毎月第2木曜日 10:00～11:00
9月13日(木) 八千種研修センター
季節の歌を歌ったり、音に合わせてリズム遊び、身体
遊びなどを楽しめます。

(問い合わせ先：ともだちひろば)

小児科の先生といっしょに おしゃべりしませんか？

子どもの健康のこと気になりますよね。急な熱やせき、
下痢など心配なことがいっぱいです。「病院では聞きに
くくて・・・」「こんな時はどうすれば？」など、ち
よっとした疑問でもかまいませんので、気軽に聞いてみ
ませんか？おひさまらんどで子どもと遊びながら、小児
科の先生を囲んで、楽しくおしゃべりしたいと思います。
すてきなアドバイスがいただけると思いますよ。

日 時 9月10日(月) 13:30～15:00
場 所 おひさまらんど
講 師 松岡クリニック 松岡智子先生
対 象 就学前の子どもとその保護者
定 員 15組
申込先 おひさまらんど

個別相談

毎月第3火曜日 10:00～14:00
8月21日(火) 文化センター2階 和室
個別相談員：大内和恵
※申込は下記の3施設で受付します。
子育てになやみや不安はつきものです。ささいなこと
でも話すことで心が軽くなることがあると思います。子
どもを遊ばせながら、気軽に子育てのなやみ、疑問を相
談してみませんか？

福崎幼稚園夏祭りに 親子で参加しませんか？

くじ引きやおもちゃのお魚すくいができるよ！
おうちの人といっしょに楽しみましょう。

日 時 8月28日(火) 10:00～11:00
場 所 福崎幼稚園
対 象 3歳以下の子どもとその保護者
定 員 10組
申込先 おひさまらんど



おしゃべりティータイム

子どもと「ことば(気持ち)」のキャッチボールが
できると子育てはグ～んと楽(らく)・楽しくなるね！

日 時 8月21日(火) 10:00～11:30
場 所 文化センター 1階 和室
おやつ りんごのゼリー ハーブティー
※食物アレルギーのある方は申込時にお
知らせください。
※おやつ代として一人50円が必要です。
申込締切 8月17日(金)までにともだちひろばへ
※同じお部屋で託児をします。
お母さん、お茶を飲みながら、しば
しリフレッシュしませんか？

すきっぷひろば

5月から地域の公民館に出向いてのすきっぷひ
ろばは、7月で第1回目を終了しました。たくさ
んのお友だち、お母さんやおばあちゃん、また地
域の方々と楽しい時間を過ごすことができました。
ありがとうございました。

第2回目は10
月から予定して
います。ぜひ、
ご参加ください。



ともだちひろば (西部子育て学習センター)

火～金曜日 9:00～16:00

文化センター2階
☎22-7830 FAX22-2561

おひさまらんど (福崎子育て支援センター)

月～金曜日 9:00～17:00
土曜日 9:00～12:00

福崎幼稚園内
☎22-2308 FAX22-2313

にこにこひろば (東部子育て学習センター)

月～木曜日 9:00～16:00

田原幼稚園内
☎22-1058 FAX22-1058

子育て支援に関することはEメール ko-shien@town.fukusaki.ne.jp